

● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel：0120-232-711 (通話料無料)
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel：0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	ジャスダック証券取引所 【お知らせ】当社株式は2009年4月18日よりジャスダック証券取引所単独上場となりました。
公 告 の 方 法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.lachd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

単元未満株式の買増・買取請求について

単元未満株式(当社の場合、100株に満たない株式)を所有される株主様には、単元未満株式の買増・買取の2つの制度がございます。株主様のご所有状況に合わせてご利用ください。

- 買増制度
お手元の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して単元未満株式の売り渡しを請求できる制度。
- 買取制度
お手元の単元未満株式を、当社に対して時価でご売却いただける制度。

具体的なお手続きにつきましては、株券を証券会社に預け入れしている場合か、あるいは証券会社を通じて株式会社証券保管振替機構に預託されている場合は、お取引の証券会社にお問合せください。
それ以外の株主様は株主名簿管理人連絡先へお問合せください。

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

ご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

●アンケート実施期間は、本報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3857

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールにより URL自動返信 kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

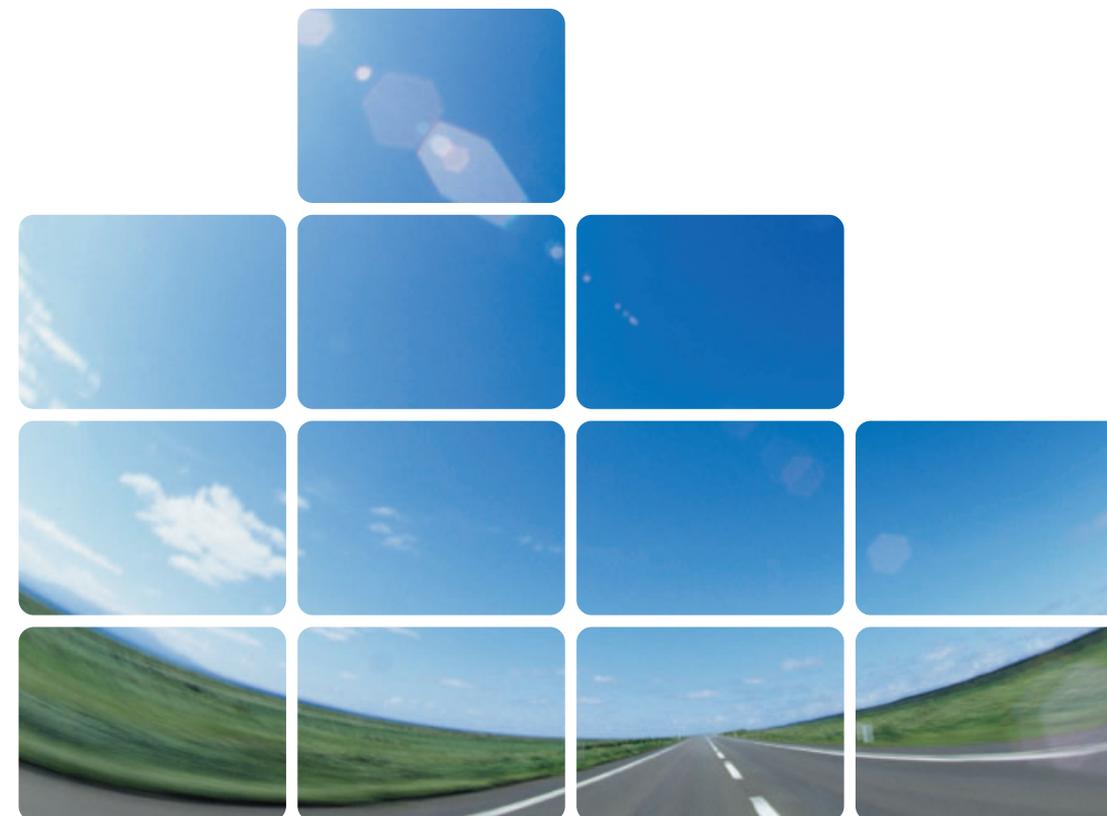
※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」TEL：03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

ラックホールディングス 株式会社

〒105-7111 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター11F
<http://www.lachd.co.jp/>
〈お問合せ〉経営戦略室広報部 Tel:03-5537-1406 E-mail: lac-ir@lac.co.jp



Business Report Vol.3



ラックホールディングス 株式会社

企業理念

進化し続けることで成長し、持続可能性の高い経営により、
社会にとってなくてはならない存在を目指します。

人材の多様性を尊重し、個々の能力を
最大に生かせるよう努力します

お客様・株主・社員の
尊厳を尊重します

独自文化の創造発信により、
美しく豊かな人間社会に貢献します



ビジョン

高度な情報技術によるサービスを提供する
社会インフラを支える企業

コーポレートガバナンスの充実とコンプライアンス重視の経営

お客様中心の視点でより価値のあるソリューションを提供

高度な情報技術による先進性の追求

社員がいそいそと楽しく働く企業

健全な成長を持続する企業

国際企業への飛躍

付加価値の高いお客様視点の ソリューション提供企業を目指して



代表取締役会長 兼 社長

三柴 元

株主ならびに投資家の皆様にはますますご清栄のこととお慶び
申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ラックホールディングス株式会社の第2期年次報告書をお送り
するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

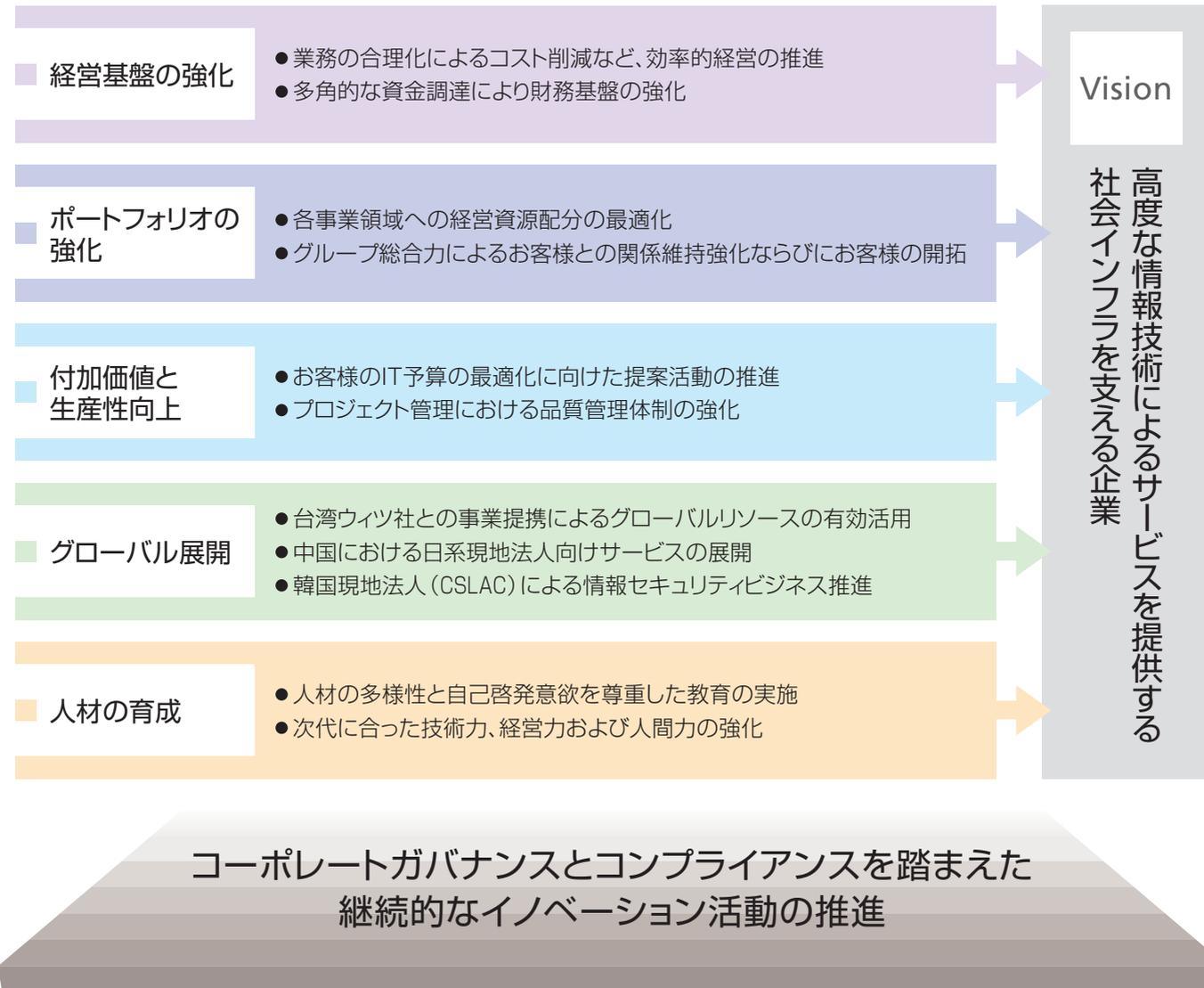
当期は世界的な金融危機に見舞われ、当社グループの属する情
報サービス業界におきましても、企業のIT投資に対する姿勢が一
段と慎重になるとともに、お客様のニーズが高度化・多様化し競争
激化の状況が続く大変厳しい事業環境となりました。

このような状況において当社グループは、ディーラー事業を展
開する株式会社アイティークルーを2008年7月17日に設立し、事
業領域の拡大と継続的な収益確保に向けた取り組みを積極的に推
進してまいりました。

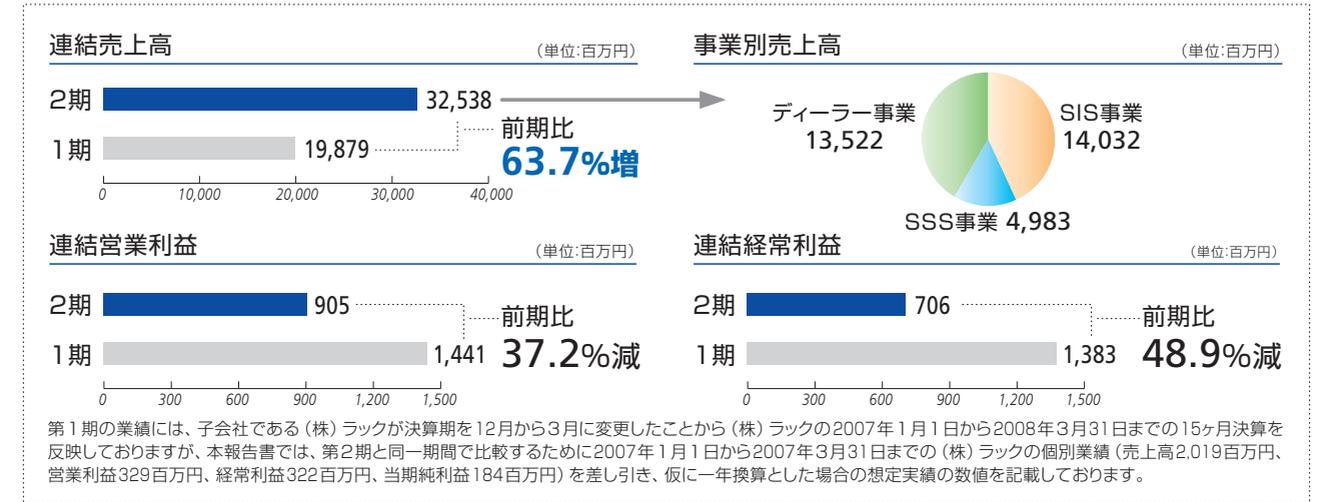
先行き不透明な経済状況のただなかにあっても、当社企業理念
である「進化し続けることで成長する持続可能性の高い経営」の実
現に向けて、引き続きグループ一丸となって経営基盤を強化する
とともに付加価値の高いお客様視点のソリューションを提供するグ
ローバル企業を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。

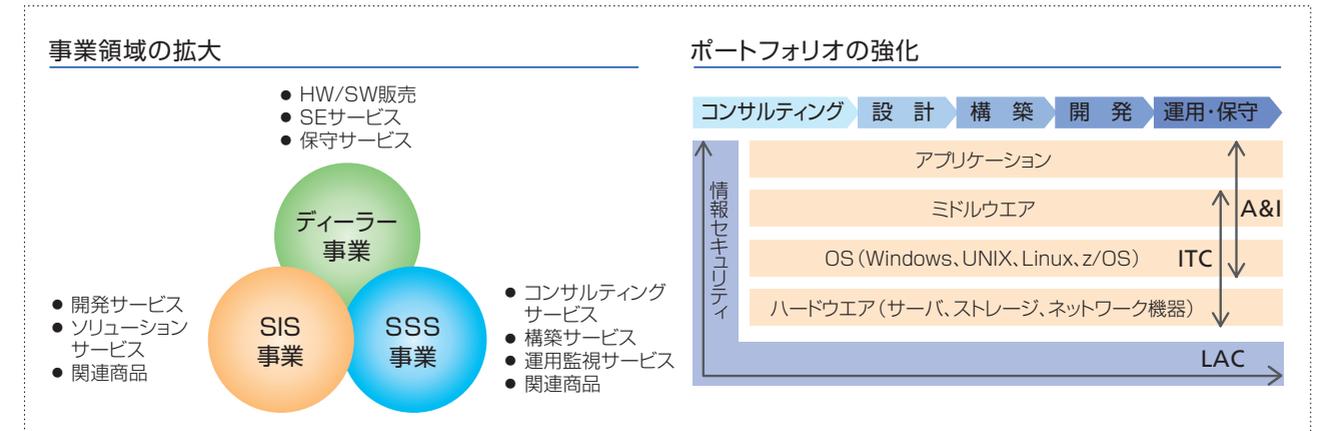
ラックホールディングスグループでは、ビジョンの達成に向けグループ事業施策を推進してまいります。



当期は世界的な金融危機の影響を受け景気が急速に悪化し、情報サービス業界も非常に厳しい事業環境となりました。このような環境のなか、当期における連結業績は、(株)アイティクルーが連結対象に加わったことから、売上高はディーラー事業が大きく寄与し325億38百万円となりました。また、グループ全体の経費低減に努めましたが、一方でSIS事業における大型請負案件のコストオーバーランによる売上総利益の減少やSSS事業における期待市場への人的先行投資が成果に繋がらず、営業利益は9億5百万円、経常利益は7億6百万円となりました。



既存のSIS事業ならびにSSS事業にディーラー事業が加わったことで、グループ全体として事業領域が拡大しポートフォリオが強化され、より広範囲なビジネス提案が可能になりました。



SIS事業 (システムインテグレーションサービス事業)

■ 開発サービス

売上高 **128億31百万円** 前期比 **5.4%減**

主要なおお客様であった人材派遣会社の廃業による影響や、一部請負案件のコストオーバーランとそれともなう機会損失、また金融機関向けWeb系アプリケーション開発案件、および保険業界向けコンサルティングサービス案件の受注が減少しましたが、既存のおお客様からの継続案件は順調に推移しました。

■ ソリューションサービス

売上高 **4億15百万円** 前期比 **28.9%減**

A&Iデータセンターにおける主要なおお客様であった人材派遣会社の廃業による影響がありましたが、新たに商材開発を進めたSAP関連ソリューション、Lotus Notes関連ソリューションなど積極的に提案いたしました。

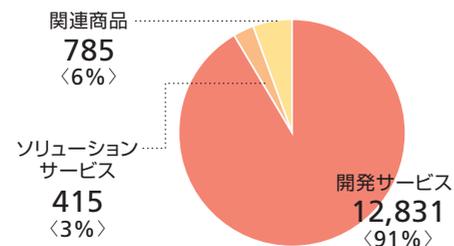
■ 関連商品

売上高 **7億85百万円** 前期比 **8.9%減**

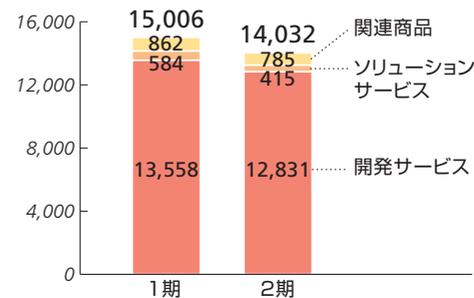
大型請負案件のインフラ構築にともなうサーバ機器やネットワーク機器などを販売いたしました。

SIS事業
売上高
**140億
32百万円**
前期比
6.5%減

サービス別売上高 (単位:百万円)



売上高 (単位:百万円)



SSS事業 (セキュリティソリューションサービス事業)

■ コンサルティングサービス 売上高 **14億6百万円** 前期比 **9.6%増**

お客様のニーズが高度化・多様化するなか、常駐型サービスにおける要員配置の遅れやスポット型コンサルティングサービスにおいても要員稼働率が低下しましたが、緊急対応サービス「個人情報119」や新たに注力したセキュリティ教育関連サービスの受注が増加しました。

■ 構築サービス 売上高 **1億29百万円** 前期比 **61.1%減**

関連商品市場の減速により製品導入の構築案件が減少したことに加えて、大型案件の受注が伸び悩みました。

■ 運用監視サービス 売上高 **22億22百万円** 前期比 **19.6%増**

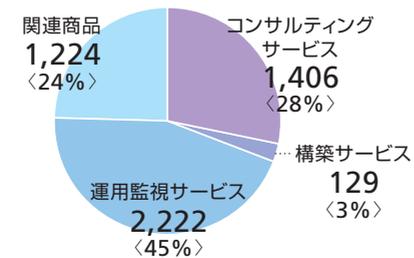
「Webセキュリティ診断・初診コース」の販売を開始するなど診断サービスは順調に推移するとともに、監視サービスの受注が引き続き堅調に推移しました。

■ 関連商品 売上高 **12億24百万円** 前期比 **12.3%減**

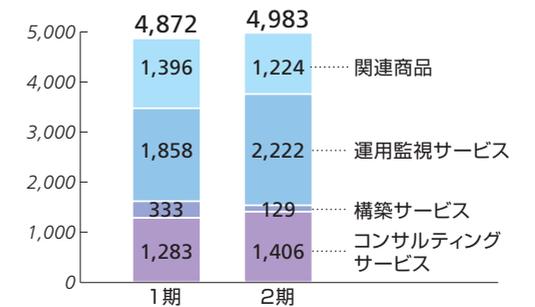
大型構築案件の受注にともなう製品販売は減少しましたが、複数のセキュリティ機能を搭載した複合型アプライアンス製品への入れ替えや製品保守の契約更新が引き続き堅調に推移しました。

SSS事業
売上高
**49億
83百万円**
前期比
2.3%増

サービス別売上高 (単位:百万円)



売上高 (単位:百万円)



ディーラー事業

2008年8月1日より開始したディーラー事業においては、ニイウス コー(株)およびニイウス(株)より継承後の事業の早期立ち上げに注力し、積極的な営業展開により、ほぼ全てのお客様との取引を継続することができました。当初計画ではのれん償却を踏まえ赤字予想でしたが、グループ体化による管理コストの低減および要員稼働率の向上に努め、初年度より黒字が達成できました。

■ HW/SW販売

売上高 72億 75百万円

世界的な金融危機の影響を受け、主要なお客様である金融機関からの案件の延期・縮小などがありHW/SW販売は伸び悩みました。

■ SEサービス

売上高 18億 84百万円

HW/SW販売の伸び悩みにともない導入サービスの受注は減少しましたが、要員稼働率の向上に努めました。

■ 保守サービス

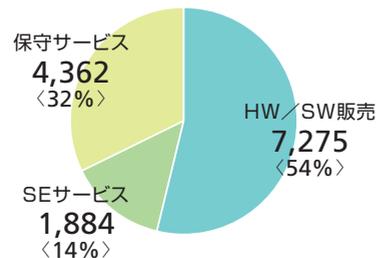
売上高 43億 62百万円

既存のお客様より保守契約を継承する取り組みを積極的に推進し、保守サービスの受注を獲得しました。

ディーラー事業
売上高
135億
22百万円

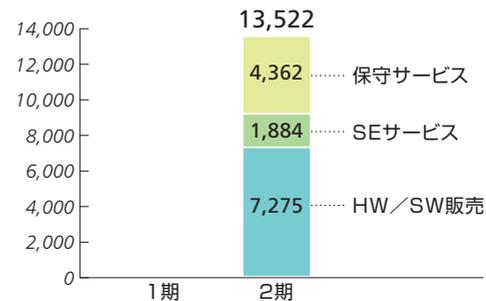
サービス別売上高

(単位:百万円)



売上高

(単位:百万円)



● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2008年3月31日現在)	当期末 (2009年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	7,386	11,534
固定資産	4,076	10,643
有形固定資産	923	1,094
無形固定資産	1,545	5,612
投資その他の資産	1,606	3,936
資産合計	11,462	22,177
【負債の部】		
流動負債	4,135	10,258
固定負債	1,537	6,370
負債合計	5,673	16,628
【純資産の部】		
株主資本	5,883	5,702
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	3,675	3,675
利益剰余金	1,216	1,138
自己株式	△ 8	△ 111
評価・換算差額等	△ 134	△ 162
少数株主持分	40	8
純資産合計	5,789	5,548
負債純資産合計	11,462	22,177

ディーラー事業の継承にともなう売掛金、前払費用、のれんおよび繰延税金資産の増加90億31百万円などにより、前期末比107億14百万円増の221億77百万円となりました。

ディーラー事業の買収代金の借入れおよびディーラー事業の継承にともなう買掛金、前受収益の増加92億99百万円などにより、前期末比109億55百万円増の166億28百万円となりました。

自己株式取得などにより株主資本が1億80百万円減少したことおよび保有有価証券の評価替えなどによる減少により、前期末比2億40百万円減の55億48百万円となりました。

● 連結株主資本等変動計算書 当期 (自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式				
2008年3月31日残高	1,000	3,675	1,216	△ 8	5,883	△ 134	40	5,789
当期中の変動額								
剰余金の配当			△ 317		△ 317			△ 317
当期純利益			240		240			240
自己株式の取得				△ 103	△ 103			△ 103
自己株式の処分		△ 0		0	0			0
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)						△ 28	△ 31	△ 59
当期中の変動額合計	—	△ 0	△ 77	△ 103	△ 180	△ 28	△ 31	△ 240
2009年3月31日残高	1,000	3,675	1,138	△ 111	5,702	△ 162	8	5,548

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

● 連結損益計算書

科目	前期 (自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日)		当期 (自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日)	
	実績	一年換算想定実績	実績	
売上高	21,899	19,879	32,538	
売上原価	15,740	14,428	25,681	
売上総利益	6,158	5,451	6,856	
販売費及び一般管理費	4,387	4,009	5,951	
営業利益	1,771	1,441	905	
営業外収益	62	60	51	
営業外費用	127	118	251	
経常利益	1,705	1,383	706	
特別利益	48	48	4	
特別損失	80	80	44	
税金等調整前当期純利益	1,673	1,351	666	
法人税、住民税及び事業税	479	478	308	
法人税等調整額	286	149	111	
少数株主利益	10	10	6	
当期純利益	897	712	240	

(単位:百万円)

2008年8月1日より事業開始した(株)アイティークルーの売上高135億22百万円が大きく寄与し、連結売上高は前期比126億58百万円増の325億38百万円となりました。

SIS事業における大型請負案件のコストオーバーランによる売上総利益の減少、新たなのれん代の発生、社内システム投資、業容拡大にともなう要員の増強などによる販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前期比5億35百万円減の9億5百万円となりました。

営業利益の減少に加え、ディーラー事業譲受のための借入金増にともなう利息の増加などにより、経常利益は前期比6億76百万円減の7億6百万円となりました。

※上記コメントは、一年換算の想定実績と比較しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 (自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日)		当期 (自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日)	
	実績	一年換算想定実績	実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,975	978	978	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 47	△ 8,641	△ 8,641	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 189	7,412	7,412	
現金及び現金同等物の増減額	0	△ 9	△ 9	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	1,738	△ 260	△ 260	
現金及び現金同等物の期首残高	557	2,723	2,723	
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	427	—	—	
現金及び現金同等物の期末残高	2,723	2,462	2,462	

(単位:百万円)

税金等調整前当期純利益の計上、のれん代の償却などにより、9億78百万円の資金流入となりました。計画当初赤字予想だったディーラー事業が黒字化し、予想を上回る結果が出せました。

ディーラー事業の継承に係る費用、台湾ウィツ社への資本参加などにより86億41百万円の資金流出となりました。

ディーラー事業の継承に係る費用を借入により調達したため、74億12百万円の資金流入となりました。

● 主要経営指標

	2008年3月期	2009年3月期
自己資本比率 (%)	50.2	25.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	59.3	27.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	175.5	1,170.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	51.4	7.0
ROE 自己資本当期純利益率 (%)	15.6	4.3
ROA 総資産経常利益率 (%)	14.9	4.2
EBITDA (百万円)	2,509	1,909
DOE 純資産配当率 (%)	2.8	4.2

自己資本比率: 自己資本 / 総資産
 時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額 / 総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ: 営業キャッシュ・フロー / 利払
 自己資本当期純利益率: 当期純利益 / 自己資本
 総資産経常利益率: 経常利益 / 総資産
 EBITDA: 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費
 純資産配当率: 配当総額 / 純資産

グループ概要

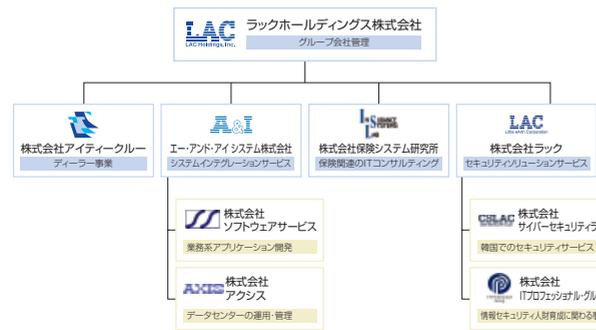
● 会社概要 (2009年4月1日現在)

商号	ラックホールディングス株式会社
英文名	LAC Holdings, Inc.
所在地	〒105-7111 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター11F 電話 (03) 5537-1400 (代表)
設立	2007年10月1日
資本金	10億円
従業員数	連結: 1,700名 個別: 179名 (※研修中の新入社員95名含む)

● 役員 (2009年6月23日現在)

代表取締役 会長 兼 社長	三柴 元
取締役	岡 良貴 (経営戦略室、ITC、ISL 管掌)
取締役	牧野 敏夫 (社長室、A&I 管掌)
取締役	白石 通紀 (業務変革室、管理本部、LAC 管掌)
社外取締役	中内 重郎
常勤監査役	畑 康徳
社外監査役	酒井 富雄
社外監査役	網野 猛美
執行役員	齋藤 理 (LAC代表取締役社長)
執行役員	米田 光伸 (ITC代表取締役社長)
執行役員	高梨 輝彦 (A&I代表取締役社長)
執行役員	平林 雄三 (ISL代表取締役社長)
執行役員	怒和 秀昭 (事業統括本部長)
執行役員	伊藤 信博 (管理本部長)

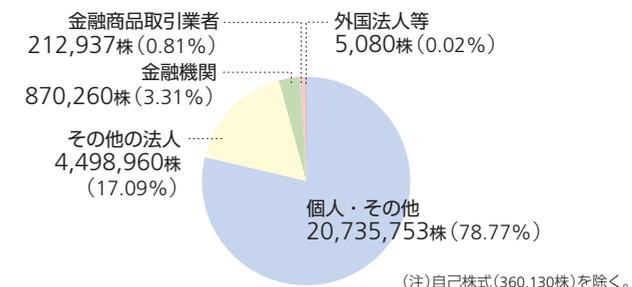
● グループ全体図 (2009年5月1日現在)



● 株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000 株	
発行済株式の総数	26,683,120 株	
株主数	6,705 名	
大株主		
氏名または名称 (株)	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
三柴 元	9,147,200	34.28
KDDI株式会社	1,414,200	5.29
ラックホールディングス従業員持株会	897,610	3.36
三菱商事株式会社	870,000	3.26
富士ソフト株式会社	735,000	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	700,000	2.62
中島 尚彦	474,700	1.77
株式会社サウンドハウス	360,000	1.34
株式会社クレスコ	355,000	1.33
株式会社フジスタッフ	321,000	1.20

● 所有者別株式分布状況 (2009年3月31日現在)



● 所有株式数別株主分布状況 (2009年3月31日現在)

